

App Bridge 管理者ガイド

Ver. 1.19.0

目次

1. 本書の役割	1
2. オーナ管理	2
2.1 オーナ管理とは	2
2.2 アプリケーションオーナー利用の利点	2
2.3 ユーザ管理	3
2.4 アプリケーションオーナーの追加と削除	3
2.5 既存オーナーの併合	4
2.6 App Bridge Kicker プランの変更	5
3. ユーザ管理	6
3.1 ユーザ管理とは	6
3.2 ユーザロール	6
3.3 ユーザ登録	7
3.4 電話番号登録	9
3.5 パスワードリセット	11
3.6 二要素認証のリセット	11
3.7 ユーザ削除	12
3.8 ロック解除	12
3.9 EnterpriseAdmin のパスワードリセット	13
3.10 EnterpriseAdmin のロック解除	13
3.11 センタ連絡先	13
4. ノード管理	14
4.1 ノード管理とは	14
4.2 ノードの登録	14
4.3 ノード CD、ノード名の変更	17
4.4 ノードタグ変更	18
4.5 ノード契約情報の変更	19
4.6 監視対象ノードの解約	20

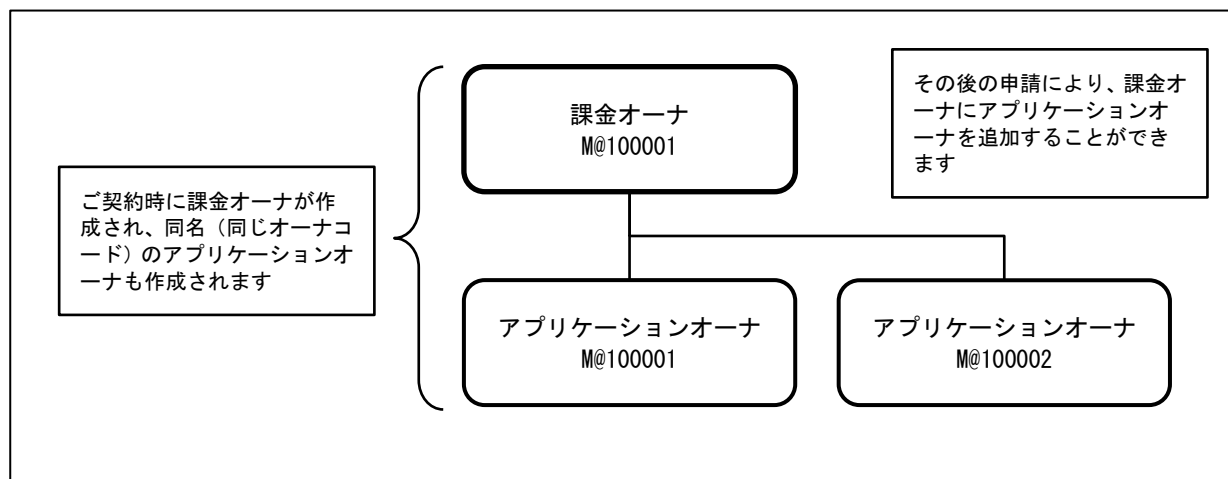
1. 本書の役割

本書は、App Bridge の管理者ロール (EnterpriseAdmin/NodeAdmin) に所属するユーザだけが実施可能な操作について、記載しています。

2. オーナ管理

2.1 オーナ管理とは

ご契約時に作成されたオーナをメインのオーナ（課金オーナと呼びます）とし、それに従属するオーナ（アプリケーションオーナと呼びます）を作成することが可能です。



2.2 アプリケーションオーナー利用の利点

（１）処理効率向上

App Bridge の内部処理では、オーナーを単位とした処理制御が行われています。このため、1 つのオーナーに多くのノードを登録すると、処理効率が落ち、各種処理が遅延する場合があります。アプリケーションオーナーを複数利用することで、この問題を回避できます。

（２）設定、通知先

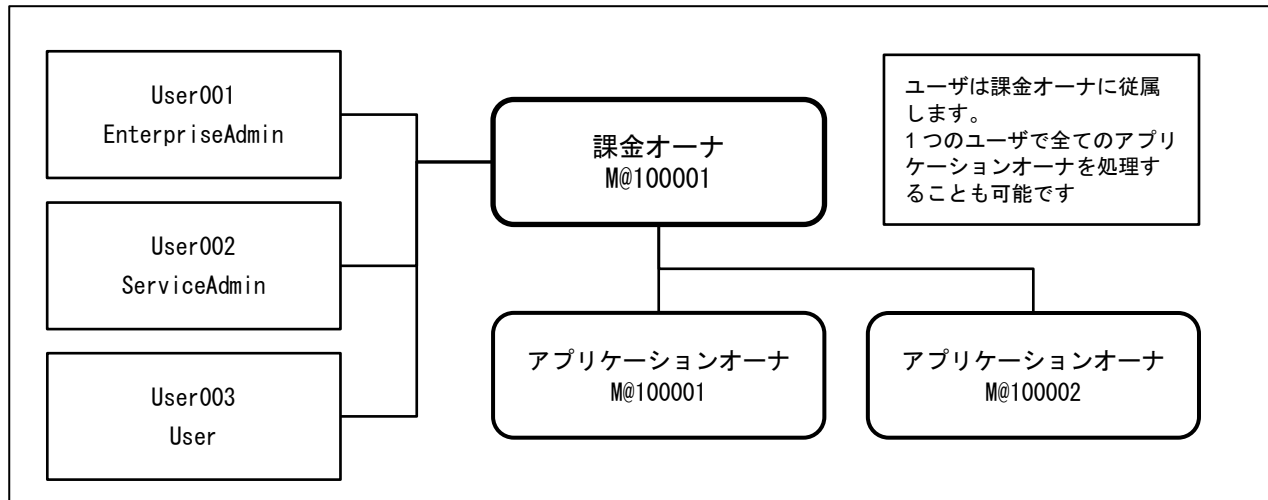
アプリケーションオーナーごとに通知先の電子メールアドレス、電話番号が登録できます。また、監視閾値などもアプリケーションオーナーごとに設定できるため、設定処理が効率化します。

（３）課金処理

課金処理は課金オーナー単位に実行されます。請求書発行手数料を頂戴している場合、当該手数料は課金オーナー単位に請求されるため、複数オーナーをご利用いただいた際の手数料負担を軽減できます。

2.3 ユーザ管理

ユーザ管理は、課金オーナー単位に行われます。このため 1 つのユーザアカウントで従属する全てのアプリケーションオーナーを処理（閲覧、設定）することが可能です。また、ユーザ管理の設定により、ユーザが処理可能なアプリケーションオーナーを限定することも可能です。



2.4 アプリケーションオーナーの追加と削除

EnterpriseAdmin の電子メールアドレスより、以下の電子メールを送信願います。

（１）アプリケーションオーナー追加

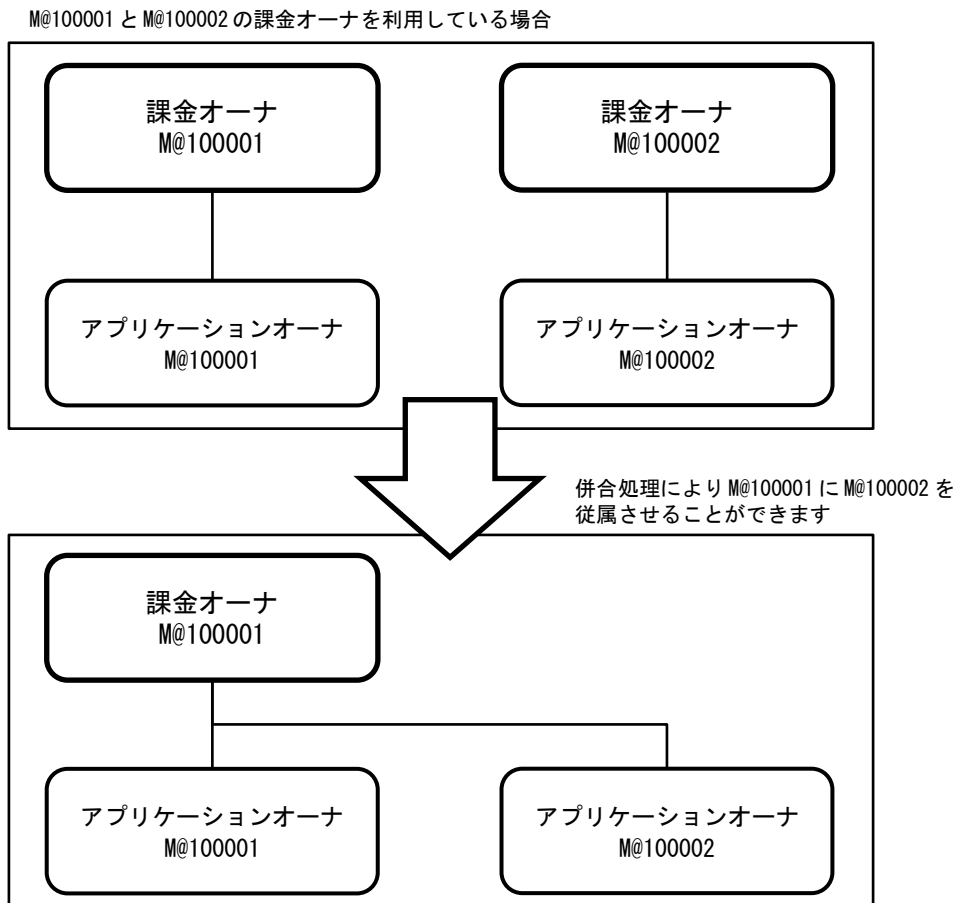
項目	内容	備考
From アドレス	EnterpriseAdmin ロールの電子メールアドレス	
To アドレス	info@app-bridge.com	
件名	アプリケーションオーナー追加	
本文	追加する課金オーナーコード 追加するアプリケーションオーナー名	

（２）アプリケーションオーナー除外

項目	内容	備考
From アドレス	EnterpriseAdmin ロールの電子メールアドレス	
To アドレス	info@app-bridge.com	
件名	アプリケーションオーナー削除	
本文	対象の課金オーナーコード 除外するアプリケーションオーナーコード 除外するアプリケーションオーナー名	除外日は除外処理された日の月末日となります

2.5 既存オーナーの併合

複数の課金オーナーをご契約いただいている場合、1 つの課金オーナーに併合することが可能です。併合したアプリケーションオーナーを再び分離することはできません。予めご了承下さい。



併合を実施する場合、EnterpriseAdmin の電子メールアドレスより、以下の電子メールを送信願います。この場合、併合対象、併合先の EnterpriseAdmin を同じ電子メールアドレスに設定しておく必要があります。

項目	内容	備考
From アドレス	EnterpriseAdmin ロールの電子メールアドレス	
To アドレス	info@app-bridge.com	
件名	課金オーナー併合	
本文	併合先となるオーナーコード 併合先となるオーナー名 併合対象となるオーナーコード 併合対象となるオーナー名	併合対象となるアプリケーションオーナーを併合先の課金オーナーに従属させます

2.6 App Bridge Kicker プランの変更

App Bridge Kicker のプランを変更するためには、課金オーナーを指定して App Bridge サイトにログインいただき、＜メインメニュー/オーナー管理/プラン変更＞をクリックし、表示された画面で使用するプランを選択して下さい。

オーナー名変更 プラン変更	
Menu > オーナー管理	
オーナーID	
オーナー名	
Kickerプラン	Plan_A
Kickerプラン登録日時	2020-04-01 00:00:00

App Bridge Kicker の課金処理は、課金対象月の月末時点のプランを使用します。

3. ユーザ管理

3.1 ユーザ管理とは

ユーザ管理とは、App Bridge の利用者管理です。登録されたユーザアカウントには、以下の属性を付与することができます。

ユーザ属性	内容	備考
ユーザロール	以下のロールを割り当てます。ロールの詳細は後述します	
	ユーザロール	内容
	EnterpriseAdmin	契約管理者 ※1
	NodeAdmin	ノード管理者
	ServiceAdmin	監視管理者
	User	一般ユーザ
ログイン許可	Web サイトへのログイン可否を設定します	
API 利用許可	REST API の利用可否を設定します	
ファイルアップロード許可	App Bridge Transporter ファイルアップロードの利用可否を設定します	※2
ファイルダウンロード許可	App Bridge Transporter ファイルダウンロードの利用可否を設定します	※2
二要素認証の強制	二要素認証を強制します	
課金情報参照許可	課金情報（請求管理）の参照権限を設定します	
センタ連絡先	App Bridge センタからの連絡先可否を設定します。連絡先とすることで、問合せや通知（バージョンアップ通知など）を受け取れます	

※1：オーナー登録時に作成されるユーザであり、1つのオーナーに1名しか登録できません

※2：詳細は「App Bridge Transporter 利用ガイド」を参照下さい

3.2 ユーザロール

ユーザアカウントには、設定されたユーザロールに従い、以下の権限が与えられます。

ユーザロール	監視結果の閲覧	監視条件の設定	Agent 設定 (※1)	ノードの登録、除外	ユーザの登録、除外
EnterpriseAdmin	○	○	○	○	○
NodeAdmin	○	○	○	○	—
ServiceAdmin	○	○	○	—	—
User	○	—	—	—	—

※1：App Bridge Monitor Windows Agent、Linux Agent インストール時のユーザ認証

3.3 ユーザ登録

新しいユーザを登録するには、課金オーナーを指定して App Bridge サイトにログインいただき、＜メインメニュー/ユーザ管理/ユーザー一覧＞の[新規登録]ボタンをクリックします。

Menu > ユーザー一覧

ユーザCD

ユーザCD	ユーザ名	ロール	有効	ログイン許可
sampleuser	サンプルユーザ	ServiceAdmin	True	True

※

ユーザー一覧には、ログインしているユーザは表示されません。ログインしているユーザ情報を変更する場合は、＜メインメニュー/ログインユーザ情報変更＞を選択して下さい。

表示された画面に登録するユーザ情報を入力します。

項目	内容	備考
ユーザ CD	登録ユーザのユーザコードを指定する	※1
ユーザ名	登録ユーザの名前を指定する	※2
ロール	登録ユーザに割り当てるロールを指定する	
メールアドレス	登録ユーザの電子メールアドレスを指定する	必須
有効	チェックを外した場合、全ての機能が利用できない	
備考	任意の内容を記述する	※3
許可されたアプリケーションオーナー CD	登録ユーザがアクセス可能なアプリケーションオーナーコードを指定する	
ログイン許可	Web サイトログインを許可する場合、チェックする	
API 利用許可	REST API の認証情報として使用する場合チェックする	
ファイルアップロード利用許可	App Bridge Transporter のファイルアップロードを許可する場合チェックする	
ファイルダウンロード利用許可	App Bridge Transporter のファイルダウンロードを許可する場合チェックする	
二要素認証の強制	二要素認証を強制する場合チェックする	
課金情報参照許可	課金情報（請求管理）を参照させる場合チェックする	
センタ連絡先	センタへの問合せ許可、センタ通知（アップグレード通知など）受信を許可する場合チェックする	※4
メッセージ通知電子メール受信	電子メール通知先に登録可能とする場合、チェックする	
パスワード	登録ユーザのパスワードを入力する場合「パスワードを入力する」をチェックする	※5

※1：許可文字数：2 文字～256 文字。先頭 1 文字：英字。2 文字目以降：英字、数字、@、-（ハイフン）、_（アンダースコア）の何れか。大文字、小文字は区別されない

※2：入力可能文字数は、1 から 50 文字。サロゲートペア文字は指定できない

※3：入力可能文字数は、0 から 300 文字。サロゲートペア文字は指定できない

※4：本項の詳細は App Bridge ファーストステップガイド「11. サポート」を参照

※5：登録ユーザに対し、登録完了メールが送信される。登録完了メールには、パスワードが記載される

3.4 電話番号登録

ユーザに電話番号を登録、変更するには、対象ユーザの詳細画面で、[電話番号登録]ボタンをクリックし、電話番号を設定します。＜メインメニュー／ログインユーザ情報変更＞で、各ユーザが自身で電話番号登録することも可能です。

Menu > ユーザー一覧 > ユーザ詳細 > 電話番号登録

現在のステータス：未登録

OK

削除

Cancel

ユーザID	
ユーザ名	
電話番号	
呼び出し時間（秒）	15 呼び出し時間に15秒より大きな値を指定する場合、当該電話に留守番電話機能が付与されていないことを確認して下さい
確認待ちとして登録する	☐

項目	内容	備考
電話番号	登録する電話番号を指定する。日本国内の固定電話、携帯電話が登録できる	
呼び出し時間	登録した電話番号を呼び出す秒数を指定する。指定した秒数を経過しても電話応答しない場合、発信を打ち切り、次の動作に移る 当該電話番号が留守番電話状態となった場合、電話応答したと見なされる。この状態を回避するため、留守番電話機能が付与されている電話番号では、留守番電話に切り替わるまでの秒数より小さな値（通常 15 秒以下）を指定する	
確認待ちとして登録する	チェックした場合、電話番号は確認待ちとなり、確認が終了するまで、発信対象外となる チェックしなかった場合、発信可能な電話番号として登録される	

登録した電話番号は、電話通知先に登録することで、発信対象となります。電話通知先については、以下のマニュアルをご参照下さい。

- App Bridge Notification 通知サービスガイド

確認待ちとした場合、ユーザ詳細画面の電話番号欄にリンクが表示されます。

Menu > ユーザー一覧 > ユーザ詳細

変更電話番号登録パスワードリセット削除

ユーザID	
ユーザ名	
ロール	NodeAdmin
メールアドレス	
電話番号	登録許可 登録拒否 確認電子メール送信 確認電話発信
呼び出し時間（秒）	15
電話番号ステータス	確認待ち
有効	☒
備考	
許可されたアプリケーションオーナーID	
ログイン許可	☒
API利用許可	☒
センタ連絡先	☒
メッセージ通知電子メール受信	☒

リンク	内容	備考
登録許可	当該電話番号の登録を許可し、発信可能とする	
登録拒否	当該電話番号の登録を拒否し、発信不可とする	
確認電子メール送信	当該ユーザの電子メールアドレスに電話番号確認を促す電子メールを送信する	
確認電話発信	登録されている電話番号に電話発信し、プッシュ操作で登録許可、拒否を実行する	

3.5 パスワードリセット

ユーザのパスワードをリセットするには、＜メインメニュー/ユーザ管理/ユーザー一覧/対象ユーザ選択/ユーザ詳細画面＞で、[パスワードリセット]ボタンをクリックし、表示された画面でパスワードをリセットします。

Menu > ユーザー一覧 > ユーザ詳細

	変更	電話番号登録	パスワードリセット	削除
ユーザCD				
ユーザ名				

Menu > ユーザー一覧 > ユーザ詳細 > パスワードリセット

ユーザCD	
ユーザ名	
新しいパスワード	☐ 新しいパスワードを入力する (再入力)

3.6 二要素認証のリセット

二要素認証を解除する場合、パスワードリセット画面で、[二要素認証を解除する]をチェックします。

Menu > ユーザー一覧 > ユーザ詳細 > パスワードリセット

ユーザCD	
ユーザ名	
新しいパスワード	☐ 新しいパスワードを入力する (再入力)
二要素認証を解除する	☐

3.7 ユーザ削除

ユーザを削除する場合、＜メインメニュー/ユーザ管理/ユーザー一覧/対象ユーザ選択/ユーザ詳細＞で、[削除]ボタンをクリックします。ユーザは即時削除され、復元することはできません。電子メール通知先、電話通知先からも削除されます。

3.8 ロック解除

ログイン画面で、3 回以上連続でパスワードエラーとなった場合、当該ユーザはロックされます。ユーザロックは、ロック後 30 分で解除されます。

＜メインメニュー/ユーザ管理/ユーザー一覧/対象ユーザ選択/ユーザ詳細＞で、[ロック解除]ボタンが表示されている場合、当該ユーザはロックされています。ユーザロックを強制的に解除したい場合、[ロック解除]ボタンをクリックします。

Menu > ユーザー一覧 > ユーザ詳細

ユーザID	
ユーザ名	
ロール	

3.9 EnterpriseAdmin のパスワードリセット

EnterpriseAdmin のパスワードリセットについては、EnterpriseAdmin の電子メールアドレスより、以下の電子メールを送信願います。

項目	内容	備考
From アドレス	EnterpriseAdmin ロールの電子メールアドレス	
To アドレス	info@app-bridge.com	
件名	EnterpriseAdmin パスワードリセット	
本文	課金オーナーコード 課金オーナー名	

3.10 EnterpriseAdmin のロック解除

EnterpriseAdmin のユーザアカウントロック解除については、EnterpriseAdmin の電子メールアドレスより、以下の電子メールを送信願います。

項目	内容	備考
From アドレス	EnterpriseAdmin ロールの電子メールアドレス	
To アドレス	info@app-bridge.com	
件名	EnterpriseAdmin ロック解除	
本文	課金オーナーコード 課金オーナー名	

3.11 センタ連絡先

ユーザ登録のセンタ連絡先をチェックした場合、当該ユーザは問合せ者、センタからの連絡先として登録されます。

センタ連絡先の変更反映は、センタ内同期処理の影響により、1 営業日程度を要します。

4. ノード管理

4.1 ノード管理とは

App Bridge では、サーバまたは通信機器をノードと呼ぶ単位で管理します。ノード管理は、ノードの登録、変更を実施するものです。

ノードを登録することにより、当該サーバで App Bridge Monitor によるサーバ監視、App Bridge Kicker によるタスク制御が実行可能となります。

4.2 ノードの登録

新しいノードを登録するには、App Bridge サイトにログインいただき、＜メインメニュー/ノード管理/ノード一覧＞の[ノード登録]ボタンをクリックします。

Menu > ノード一覧

ノードCD(前方一致) ☐ 解約済を表示

ノードCD	ノード名	種類	スケーリング制御
WS1	Windowsサーバ1号機	Windows(Amazon EC2)	☐

登録するノードの情報を入力します。入力が完了したら、[確認]ボタンをクリックします。

Menu > ノード一覧 > ノード登録

確認
キャンセル

ノード基本情報

ノードCD	
ノード名	
種類	--- ▼
スケーリング制御	☐

ノード基本情報は、利用者サーバの基本情報を登録するものです

- 本情報の登録により、App Bridge Monitor Agent、App Bridge Kicker Agentが利用可能となります
- App Bridge Monitor Agentをインストールしない限り、本情報を登録しても、Agent監視の課金は発生しません
- App Bridge Kicker Agentをインストールしない限り、本情報を登録しても、オーナーノード課金は発生しません

ノード契約情報

統計保有日数(日)	10 ▼
応答監視エンドポイント上限数(件)	選択しない ▼
API監視	☐

ノード契約情報は、App Bridge Monitorの利用者サーバ監視設定であり、課金に影響するものです

- 統計保有日数は、Agent監視、応答監視の統計情報保存する日数であり、各監視の単価に影響します
- 応答監視は、申請ベースの課金であり、エンドポイント上限数を登録した時点から課金が発生します
- API監視は、申請ベースの課金であり、API監視を有効とした時点から課金が発生します

項目名称	設定内容	備考
ノード CD	監視対象ノードを一意に識別するためのノード CD を入力します。以降の処理には、このノード CD が必要です	半角英字、数字、アンダースコア(_)、ハイフン(-)をで構成された文字列
ノード名	任意のノード名を入力します	
種類	ノードの種類をプルダウンメニューから選択します	次ページの種類の一覧を参照して下さい
スケーリング制御	AWS Auto Scaling、Azure Cloud Services など、サーバインスタンスを動的に増減させる場合チェックします (※1)	
統計保有日数 (日)	統計情報を保存する日数を選択します	
応答監視エンドポイント上限数 (件)	応答監視 (Ping 監視、HTTP 監視、TCP ポート監視)のエンドポイント数を選択します。エンドポイント数は、監視したいPing FQDN、HTTP URL、HTTPS URL、TCP FQDN とポート番号の合計です (※2)	
API 監視	API を利用したインスタンスのステータス監視を実施する場合、チェックします (※3)	

※1: スケーリング制御の解説は「App Bridge ファーストステップガイド」を参照下さい

※2: 「App Bridge Monitor 応答監視サービスガイド」を参照下さい。

※3: 「App Bridge Monitor API 監視サービスガイド」を参照下さい。

種類の一覧は以下のとおりです。

#	種類	内容	スケーリング制御
1	Windows (On-Premises)	Windows サーバ	選択可
2	Windows (Microsoft Azure Cloud Services)	Azure Cloud Services で稼働する Windows サーバ	必須
3	Windows (Microsoft Azure Virtual Machines)	Azure Virtual Machines で稼働する Windows サーバ	選択可
4	Windows (Amazon EC2)	Amazon Web Services で稼働する Windows サーバ	選択可
5	Linux (On-Premises)	Linux サーバ	選択可
6	Linux (Microsoft Azure Virtual Machines)	Azure Virtual Machines で稼働する Linux サーバ	選択可
7	Linux (Amazon EC2)	Amazon Web Services で稼働する Linux サーバ	選択可
8	Databases Host	Microsoft Azure、または Amazon RDS の SQL Server サービス	選択不可
9	Network Device	ネットワーク機器（ルータ、ファイアウォールなど）	選択不可

表示されたノード登録確認画面で入力した内容を確認し、「内容を確認しました」のチェックボックスにチェックを入れて、[決定]ボタンをクリックします。

Menu > ノード一覧 > ノード登録確認

☒ 内容を確認しました
ノードを登録する場合、「内容を確認しました」にチェックを付けて決定ボタンを押してください。

決定

戻る

ノードID	
ノード名	
種類	Windows(On-Premises) ▼
スケーリング制御	☐
統計保有日数(日)	40 ▼
応答監視エンドポイント上限数(件)	選択しない ▼
API監視	☐ 有効

これでノード登録は完了です。ご登録頂いたメールアドレスに「ノード登録完了メール」が送信されます。

4.3 ノード CD、ノード名の変更

ノードのノード CD、ノード名を変更するには、＜メインメニュー/ノード管理/ノード一覧/対象ノード選択/ノード詳細画面＞で、[ノード CD・ノード名変更]ボタンをクリックし、表示された画面で変更内容を入力します。

Menu > ノード一覧 > ノード詳細

ノードCD・ノード名変更 ノードタグ変更 ノード解約

ノードCD	
ノード名	
種類	Windows(On-Premises)
スケーリング制御	☐
ノードタグ	TAG111

ノード契約情報 ノード契約情報履歴 ノード契約情報変更

統計保有日数(日)	10
応答監視エンドポイント上限数(件)	-
API監視	無効

※ノード契約情報の変更により課金単価が変更されます

4.4 ノードタグ変更

ノードのタグを変更するには、＜メインメニュー/ノード管理/ノード一覧/対象ノード選択/ノード詳細画面＞で、[ノードタグ変更]ボタンをクリックし、表示された画面で変更内容を入力します。

Menu > **ノード一覧** > **ノード詳細**

ノードCD・ノード名変更

ノードタグ変更

ノード解約

ノードCD	
ノード名	
種類	Windows (On-Premises)
スケーリング制御	☐
ノードタグ	TAG111

ノード契約情報

ノード契約情報履歴

ノード契約情報変更

統計保有日数(日)	10
応答監視エンドポイント上限数(件)	-
API監視	無効

※ノード契約情報の変更により課金単価が変更されます

4.5 ノード契約情報の変更

ノードの契約情報（統計保有日数、応答監視エンドポイント上限数、API 監視）を変更するには、＜メインメニュー/ノード管理/ノード一覧/対象ノード選択/ノード詳細＞で、[ノード契約情報変更]ボタンをクリックし、表示された画面で変更内容を入力します。

Menu > ノード一覧 > ノード詳細

ノードCD・ノード名変更 ノードタグ変更 ノード解約

ノードCD	
ノード名	
種類	Windows (On-Premises)
スケーリング制御	☐
ノードタグ	TAG111

ノード契約情報 ノード契約情報履歴 **ノード契約情報変更**

統計保有日数(日)	10
応答監視エンドポイント上限数(件)	-
API監視	無効

※ノード契約情報の変更により課金単価が変更されます

4.6 監視対象ノードの解約

ノードの監視を終了する場合、＜メインメニュー/ノード管理/ノード一覧/対象ノード選択/ノード詳細画面＞で、[ノード解約]ボタンをクリックします。

Menu > ノード一覧 > ノード詳細

ノードCD・ノード名変更 ノードタグ変更 **ノード解約**

ノードCD	
ノード名	
種類	Windows (On-Premises)
スクーリング制御	☐
ノードタグ	TAG111

ノード契約情報 ノード契約情報履歴 ノード契約情報変更

統計保有日数(日)	10
応答監視エンドポイント上限数(件)	-
API監視	無効

※ノード契約情報の変更により課金単価が変更されます

表示された内容を確認し、「内容を確認しました」のチェックボックスにチェックを入れて、[決定]ボタンをクリックします。これでノードは解約されます。

Menu > ノード一覧 > ノード詳細 > ノード解約確認

☐ 内容を確認しました

ノードを解約すると監視照会サイトで照会できなくなります。ノードを解約する場合、「内容を確認しました」にチェックを付け、決定ボタンを押してください。

決定 戻る

ノードCD	
ノード名	
種類	Windows (On-Premises)
スクーリング制御	☐
統計保有日数(日)	40
応答監視エンドポイント上限数(件)	-
API監視	無効